

敦賀の「原発銀座」で原発の過去・現在・未来を語ろう

福島第一原発のシビア・アクシデントが、この半年、大きな問題になりました。しかし福井県には、福島第一、第二以上に原発が密集しています。

福井県は昔から磐城の国、岩代の国と言われて、地盤が固く、地震には絶対安全と伝えられてきたところですが、あの大災害が発生しました。一方、越前の国、若狭の国には活断層が縦横に走っていて、万一の場合は福島以上の大惨事になることは、必至です。それに若狭は京阪神に近く、その水源池である琵琶湖は原発から 20 数 km という至近距離にあります。

30 年前に、小浜市の明通寺住職中嶋哲演さんがアメリカで「原発銀座」のことを話したら、「Oh, it's crazy!」と言われたそうです。今はさらにもっとクレイジーになっているのではないかと思います。

どうしてそうなったのか。福島原発事故を踏まえて、今、わたしたちは何をすべきなのか。子や孫たちにどのような未来を伝えてやるべきなのか。そのようなことを、みんなで語り合いたいと思います。

日時：2011 年 10 月 31 日 午後 2 時 30 分～5 時

場所：西誓寺（真宗大谷派）

敦賀市古田刈 69-516 Tel 0770-22-4104, Fax 0770-22-6311

話し合いに入る前に、原子力発電所を 1～2 か所見学します。

主催：カトリック名古屋教区正義と平和委員会

名古屋市東区葵 2-6-29 福信館内

Tel 052-935-7180, Fax 052-935-7195

連絡先：委員長 カトリック司祭 竹谷基

(携帯) 186-090-1823-3226

なお名古屋からの参加者は、10 月 31 日 8 時 30 分に福信館からワゴン車で出発します。定員 7 名。先着順。(交通費一部負担で一人往復 3000 円をお願いします。)